



平成 21 年 7 月 23 日

各 位

会 社 名 株式会社ドトール・日レスホールディングス
代 表 者 名 代表取締役社長 星野 正則
(コード番号 3087 東証第 1 部)
問 合 せ 先 取締役 木高 毅史
(TEL:03-5459-9178)

韓国No. 1乳業メーカー「ソウル牛乳協同組合」との業務提携に関するお知らせ

株式会社ドトール・日レスホールディングス傘下の株式会社ドトールコーヒーは、韓国の大手乳業メーカーであるソウル牛乳協同組合(本社:韓国ソウル市、代表者:趙興元)と相互理解と信頼に基づき、両社の発展に向け、韓国国内におけるコーヒー飲料事業において戦略的な業務提携契約書を平成 21 年 7 月 23 日付で締結いたしました。

今般、ドトールコーヒーとソウル牛乳において、韓国におけるコーヒー飲料市場を検討した結果、ドトールコーヒーのブレンド・焙煎技術とソウル牛乳のセールス力、マーケティング力を活かしたマーケティング・ミックスを展開し、その第一弾として、チルドPET飲料を先行投入いたします。「オールアラビカ豆の高級感」、「新鮮なチルド飲料のおいしさ」、そして「リーズナブルな価格」を消費者に訴求し差別化を図ります。その後、市場規模の獲得の可能性が高いボトル缶、瓶市場に順次参入、またソウル牛乳の生産体制が整い次第、チルドカップコーヒー市場へも参入を計画しております。

今後、ドトールコーヒーとソウル牛乳は、相互協力して保有する経営資源・事業機会を有効に活用しシナジー効果を発揮させることにより、両社の韓国におけるコーヒー飲料事業の競争力を高め、一層の業容発展を図ってまいります。

業務提携先の概要

商号	ソウル牛乳協同組合
事業内容	牛乳・粉乳・バター・チーズ・アイスクリーム・乳酸菌飲料等の加工販売、酪農機資材配給、酪農指導
設立	1937年
代表者	趙 興元
資本金	1,100億 KRW
売上高	1兆6,000億 KRW(2009年度計画)
販売代理店	約1,200店



商品概要

ドトールコーヒーとソウル牛乳が共同開発したコーヒー飲料「ソウル牛乳 ドトール・ザ・クラシック」(容量/210ml、価格/1,200 KRW)は、8月1日から全国の小売店を通じて韓国国内で販売されます。

今回発売される「ソウル牛乳 ドトール・ザ・クラシック」は、ソウル牛乳の1級A原乳とドトールコーヒーの最高級アラビカコーヒー豆を主原料としたカフェモカ、カフェラテと、ドトールコーヒーアメリカーノ、合計3種のプレミアムコーヒー飲料です。コーヒー本来の味と香りを維持するため、焙煎後のコーヒー豆を冷蔵保管し、すべての生産及び流通過程においても冷蔵システムを適用しています。



カフェモカ

カフェラテ

アメリカーノ

なお、ソウル牛乳では商品の発売に合わせ、8月1日から7日まで東海岸ビーチエリアで商品試演会及び多様なイベントを行う予定です。

今後の見通し

今期の当社グループ業績に与える影響につきましては軽微であります。

ご注意 本発表資料には、将来に関する記述が含まれています。こうした記述はリスクや不確実性を内包するものであり、経営環境の変化などにより実際とは異なる可能性があることにご留意ください。また、本発表資料は、日本国内外を問わず一切の投資勧誘またはそれに類する行為を目的として作成されたものではありません。

以上